

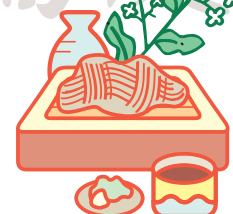
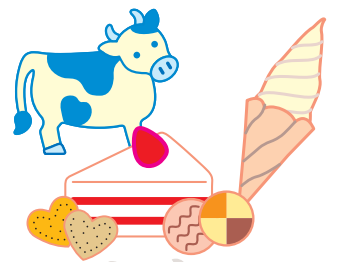
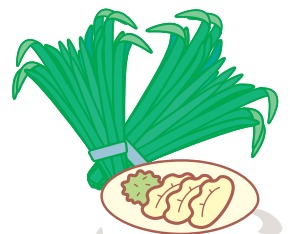
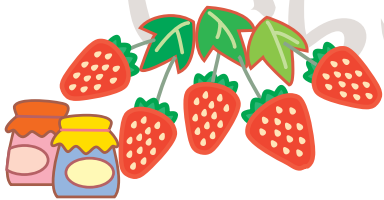
“食”をテーマに地域経済が成長・発展し、活力あふれる

“フードバレーとちぎ”を 目指して

FOOD VALLEY TOCHIGI “フードバレーとちぎ”とは

栃木県は、全国有数のものづくり県であるとともに、豊かな農産物や豊富で良質な水に恵まれ、首都圏の食料供給基地として発展してきました。

県では、本県のもつポテンシャルを最大限に活かし、“食”に関連する産業の振興を図ることにより、“食”をテーマに地域経済が成長・発展し、活力あふれる“フードバレーとちぎ”を目指す取組を全県を挙げて推進しています。



とちぎの食の強み(優位性)



良質で豊富な水

- 大学、公設試験研究機関、大手食品企業の開発研究部門の存在
- 産学官34の支援機関によるネットワーク

優れた人材・技術

豊かな農産物



- 農業産出額 全国9位(H21)
いちご 42年連続収穫量日本一
米、生乳、もやし、にら、トマト、…
- 平坦で広大な水田(耕地の8割)を活かした農産物生産の可能性

多彩な産業基盤



- 飲・食料品製造品出荷額等 全国12位(H21)
- 県内総生産に占める製造業の割合が高い“ものづくり県”
- 1～3次産業のバランスのとれた産業基盤

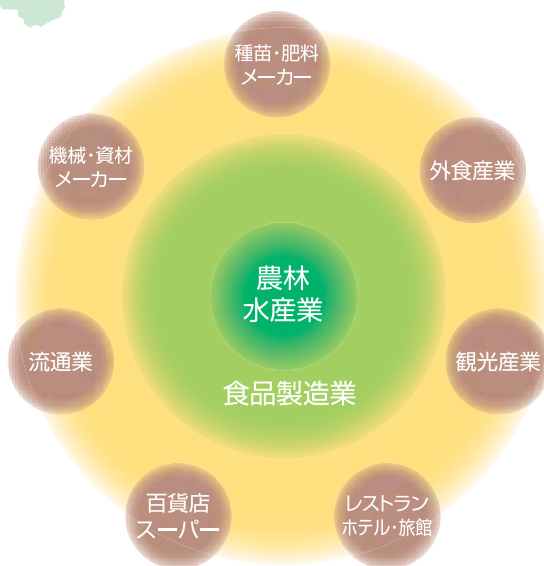
恵まれた立地条件

- 東京圏の大消費地に近接
- 交通網が発達し、物流拠点の発展、人的資源の確保に有利
- 自然災害の少ない環境

豊かな地域産業資源の活用

食の産業の特徴

“食”に関連する産業は、農業や食品製造業をはじめ、流通業、小売業、さらには観光・サービス産業など、第1次産業から第3次産業まで幅広い分野にわたることから、本県の産業振興に大きな効果が期待できます。



第1次～第3次産業の連携

関連産業の高付加価値化

販路開拓

“食”の産業振興

商品開発
技術開発

企業誘致

地域経済の活性化

“食”をテーマに地域経済が成長・発展し、活力あふれる

“フードバレーとちぎ”を目指します。



フードバレーとちぎ推進協議会

設立 年月日

平成22年11月19日、300の企業・団体が会員として参加し、“食”をテーマに地域経済が成長・発展し、活力あふれる“フードバレーとちぎ”を目指す取組が本格的にスタートしました。

設立 目的

県内の農林漁業者や食品製造業をはじめとする食品関連企業、産業支援機関など“食”に関する幅広い主体が結集し、活発に交流・連携する場として「フードバレーとちぎ推進協議会」を設立しました。

事業内容 の一例

産学官連携による商品開発・技術開発

- 「フードバレーとちぎ推進融資」「フードバレーとちぎ農商工ファンド」「とちぎ未来チャレンジファンド」の活用により、農商工連携や地域資源活用による新技術・新商品開発を支援します。
- 発展可能性のある分野の技術シーズごとに研究会を設置し、新技術・新商品開発を支援します。



海外市場も視野に入れた販路開拓

- 食品流通の専門家派遣により、新商品開発の企画段階から商品化・販路開拓まで「売れる」商品づくりを支援します。
- 国内における販路開拓・拡大のため、東京圏における展示商談会への出展を支援します。
- 海外での国際見本市への出展や商談会の開催等、県内食品関連企業等が行う海外への販路開拓・拡大を支援します。



とちぎの強みを活かした企業誘致

- 食品関連企業の立地・定着を、土地・建物・生産設備への投資に対する補助制度により支援します。

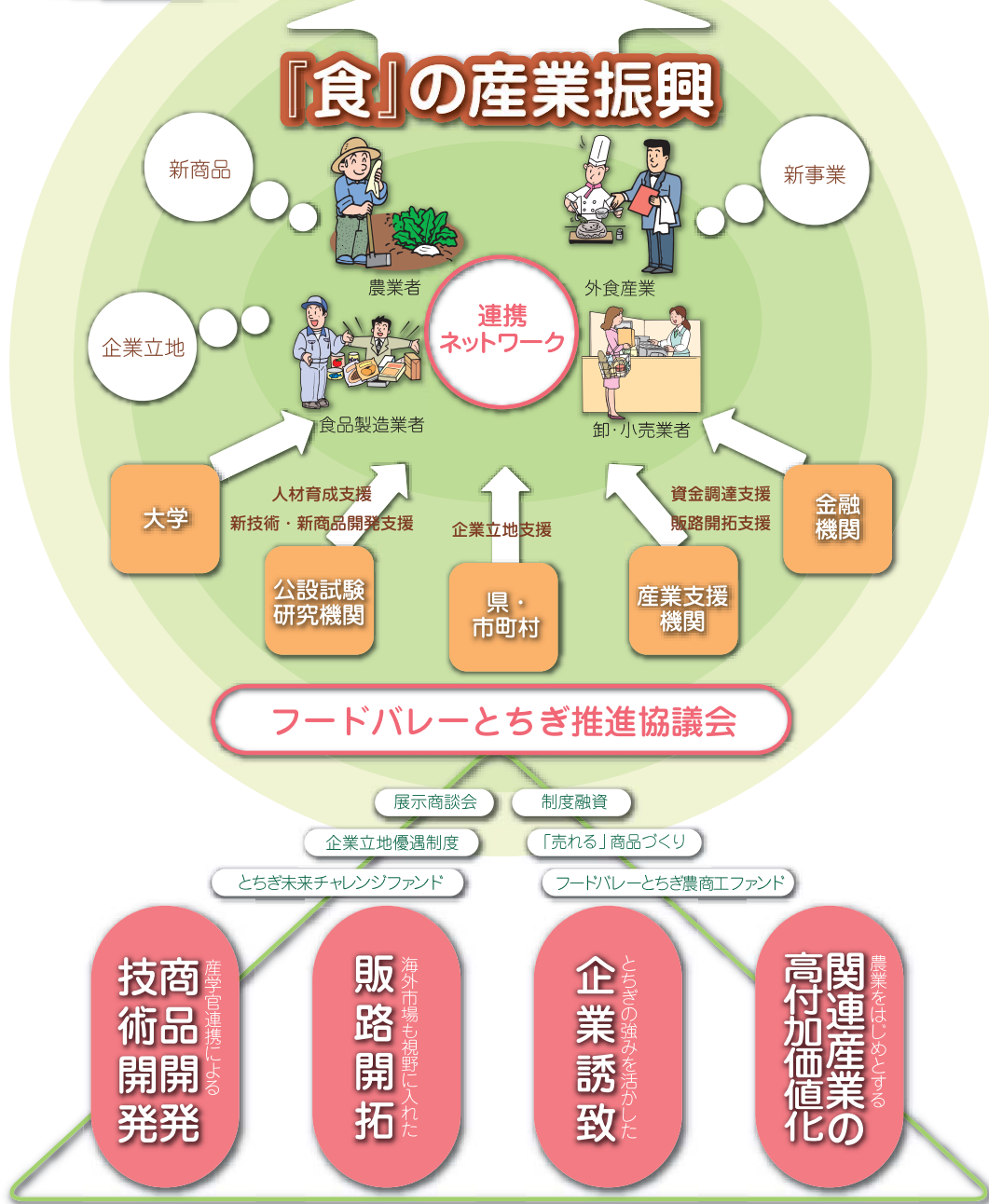


農業をはじめとする関連産業の高付加価値化

- 加工適性に優れた品種の選定、新たな商品開発による県産農産物の需要拡大を進めます。
- 農業者等による加工・販売に向けた新たな取組を促進し、農業の6次産業化を支援します。



『食』をテーマに地域経済が成長・発展し、活力あふれる
 “フードバレーとちぎ”



新たな商品開発・販路開拓などに取り組みたい方!! 「フードバレーとちぎ推進協議会」入会については……

ホームページはこちらから

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/sangyou/shoukougyou/foodvalley/index.html>